

看護のための対話学習



この番組は、患者と看護師が相互に「理解・信頼」しあい、「発展」的な対話ができるように構成されています。模擬患者でのシミュレーション学習により現実に近い場面を実感でき、またステップを踏んで対話技法を学んでいけるようにアニメーションを加えてわかりやすく解説しています。ケアの質の向上を目指す看護師は必見です！ 病棟実習の事前学習に是非ご活用ください。

- DVD 全3巻
- 各巻価格 ￥28,000 (本体価) + 税
- セット価格 ￥84,000 (本体価) + 税

■ 原案監修：清水 裕子
香川大学 医学部 看護学科 教授



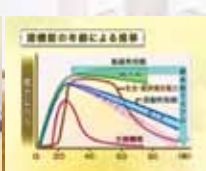
vol.2 高齢者との対話 40分

対話が弾むための態度
高齢者との対話では、ケア者との年齢差が対話の障害になることがあります。この巻では、高齢者との対話力を高めるために必要な態度や、認知症高齢者とのかかわり方を学びます。また模擬患者への退院指導のシミュレーション場面から、対話的態度や対話技法の実際を紹介します。

vol.1 対話の基本 33分

対話不安を除くマイクロカウンセリング技法の習得

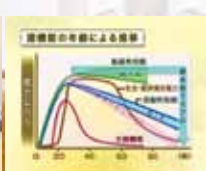
患者との対話は看護の基本の1つです。この巻では看護師に必要な対話能力について説明し、患者との対話をスムーズに進めるためのマイクロカウンセリング技法を解説します。また模擬患者とのシミュレーション場面から、対話技法の実際を紹介します。



vol.3 がん患者との対話 32分

安らかな死に向かい、家族の悲嘆を和らげるケア・コミュニケーション

人生の終末期にある患者は、高齢者、疾病のある患者など様々です。この巻では、がん患者の療養および死にゆく過程の対話場面を通して、終末期における対話の基本姿勢とケアとしてのコミュニケーションを学びます。



©2010



看護教育概論

近代看護が芽生えてから150年あまりになります。近代化の陰には多くの看護婦のたゆまぬ努力があります。先輩の看護婦がどのような思いで看護の発展のために努力し、困難を解決してきたのか等の歴史を知ることは、看護に携わる方にとって大変重要なことです。本シリーズでは、アメリカ及び日本の看護が専門職として確立された過程を、当時の政治的、社会的背景などを交えながら、資料写真やCGを用いて分かりやすく解説します。看護学生はもちろん、臨床看護師、訪問看護師、保健師、看護教育者にも必見の番組です。

本シリーズでは、歴史の経緯に従い、2002年2月までの事項については「看護婦」の名称を使用しています。

- DVD 全2巻
- 各巻価格 ￥28,000 (本体価) + 税
- セット価格 ￥56,000 (本体価) + 税

■ 原案監修：ライダー 島崎 玲子 青森県立保健大学 名誉教授



vol.1 アメリカの看護 - 専門職への道 - 24分

看護が現在のような専門職として認められるようになるまでには、どのような道を行ってきたのでしょうか。この番組では、先ず近代看護の芽生えに大きな影響を与えたフローレンス・ナイチンゲール、アンリー・デュナンについて触れ、次に世界で最も早く専門職として発達したアメリカの看護史を、当時の資料写真やCGを用いて分かりやすく解説します。また、スペクトラム説、チームナーシング、看護理論、看護診断、開業看護婦、ターミナルケアについても説明しています。

vol.2 日本の看護 - GHQによる看護改革 - 25分

現在に至る日本の看護教育や制度の整備は、太平洋戦争終了後、連合軍総司令部(GHQ)公衆衛生福祉局の主導により行われ、当時のアメリカの看護婦は日本の看護婦と共に、日本における看護の発展のために努力をしました。この番組では、GHQの公衆衛生福祉局が行った看護改革(免許制度、看護教育の改革、就業看護婦の再教育、看護サービスの改革、保健所の設置)について、そして、それらが日本の看護に与えた影響について、当時の資料写真とCGを用いて分かりやすく解説します。また、今後の看護の展望と拡大された役割についても見ていきます。



©2006